



SCカフェ 8

12/21
(水)

地域とつながる

～倉敷の地域づくりの実践から～

本日皆さんにお伝えしたいこと

1. 倉敷の地域づくりの特徴
2. 通いの場から地域とつながる
3. 被災地でつながる
4. コロナ禍でもつながる
5. まとめにつながる

倉敷市第1層生活支援コーディネーター

倉敷市社会福祉協議会 松岡 武司



1. 倉敷市の地域づくりの特徴



1. 倉敷市での地域づくりの特徴



倉敷市の概要



人口：478,570人（令和4年9月末日現在）
世帯数：218,097世帯
高齢化率：27.8%（小学校区63か所：15%～50%）



1. 倉敷市での地域づくりの特徴

元気な地域をつなぐ専門職
生活支援コーディネーター

私たちは
「お節介」と「安請け合い」で
元気な地域づくりを
ぼっけえ応援する職員です！

情報を広く
詳しく発信！

「したい」
「できる」を
活躍へ

居場所づくり
作戦会議の場
を応援！



1. 倉敷市での地域づくりの特徴

地域づくりに必要なつなぐ機能



SCが取り組む3つの宿題

①通いの場調査・情報発信事業

- 『通いの場』の実態調査
- 『通いの場』運営者アンケート調査
- 『通いの場』ガイドブックの作成



- 「情報」をつなぐ
- 「人」と「居場所」をつなぐ

②地域支え合い活動普及啓発事業

- 住民フォーラムの開催（年2回）
- 通いの場交流会の開催（全6地区）



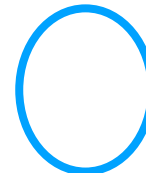
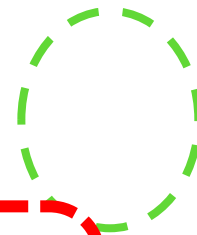
- 支え合いの「意識」をつなぐ
- 「人」と「人」をつなぐ

③生活・介護支援サポーター養成事業

- 全9回のサポーター養成講座の実施
- フォローアップ講座の開催



- 「担い手」と「活躍の場」をつなぐ



SCが取り組む3つの宿題

①通いの場調査・情報発信事業

- ・『通いの場』の実態調査
- ・『通いの場』運営者アンケート調査
- ・『通いの場』ガイドブックの作成



- ・地域に飛び込む、きっかけとしてのガイドブックづくり
- ・ガイドブックの取材や作成を通してSCの情報の集約・整理が加速



②地域支え合い活動普及啓発事業

- ・住民フォーラムの開催（年2回）
- ・通いの場交流会の開催（全6地区）



- ・SCや協議体の存在や役割を地域に発信する機会



③生活・介護支援サポーター養成事業

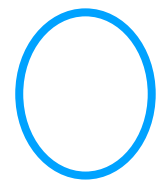
- ・全9回のサポーター養成講座の実施
- ・フォローアップ講座の開催



- ・養成講座を通して、支え合いのまちづくりを推進する担い手との関係を形成

地域づくりのための宿題であり、コーディネーター育成の宿題

「つなぐ・つなげる」前段階の「つながる」オーダー



★行政とつながる

0層SCの存在

- ・市をあげての「地域づくり」キャンペーンの旗振り役
- ・1層・2層SCが地域とつながるための基盤を整備
- ・やらされ感(×)ではない肯定感(◎)を与えて続けてくれる存在

1層SC・2層SC
倉敷市社会福祉協議会



なんかうれしい!!

0層SC
倉敷市地域包括ケア推進室



頼んだで!

倉敷のつながり・支え合い事例集

あなたの居場所 見つけませんか？



くらしき
「**通いの場**」
ガイドブック

～人が集まる、笑顔が見える～

- ☆ 倉敷市の「通いの場」情報満載
- ☆ 「通いの場」の探し方・仲間づくり
- ☆ 「通いの場」の活用方法

支え合い活動事例集

暮らし輝の
支え合い

元気な地域づくりのヒントを満載
支え合いのある暮らし



くらしき通いの場 ガイドブック

毎日がかようび
～通う日～



あなたの暮らしの
すくそびに

地域共生ガイドブック



地域みんなで作ろうと参画
・地域で共に生きる活動事例を紹介
・参画に役立つ「参加型」の情報満載



支え合いにあふれる
事例集 7部作は
こちらから



被災地発 支え合い活動事例集
支え合う倉敷 つながり合う美観

豪雨ニモ
マケズ



見える化
魅せる化
実る化

笑うまちには福来る



2. 通いの場から地域とつながる



「通いの場」ってどんなもの？

通いの場

- ・サロン・カフェ・集いの場・ラジオ体操
- ・レクリエーション・スポーツ・習いごと
- ・カラオケ・公園・ごみステーション・井戸端会議
- ・友達の家・畑・イベント・サークル・魚釣り
- ・安全パトロール・ボランティア・食事会・お祭り
- ・おすそわけ・あいさつ・手紙のやりとり 等々

- ・二人からでも
- ・メニューが無くても
- ・拠点が無くても
- ・お酒飲んでも

人が出会って、元気と笑顔
が生まれるものはすべて
「通いの場」

それならもう
やってるよ！

こんな集まりで
よかったの！？



倉敷市の体制整備は「通いの場」を基軸に

(通いの場に向けた具体的な支援)

支援項目	具体的な手法
取材・調査	・情報把握・リスト作成
情報発信	・ガイドブックの作成・通いの場一覧表電子版の更新
マッチング	・相談支援 ・参加希望者と場へのマッチング
立ち上げ支援	・作戦会議へ参加等
運営支援	・サロン交流会・情報交換会 ・助成金・運営メニュー等の相談
意識啓発	・支え合いのまちづくりフォーラム 等



内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
個人・団体が実施する『通いの場』	430	499	600	705	771	840
うち補助金対象サロン	160	195	227	262	270	280

日常の居場所が無理なくつなぐ



「あなたらしく」
気兼ねなく

社会参加
(人とのつながりが続くこと)

「通いの場」

介護予防
(自分の役割や
生きがいが地域
にあること)

生活支援
(お互いさまの
関係で支え合う
こと)

「なじみの」
仲間と
「いつもの」
場所で

情報をつなぐ

人と場をつなぐ

人と活躍の場をつなぐ

人と支援をつなぐ

「無理なく」
つながり

人と人をつなぐ

意識をつなぐ・こころをつなぐ



「通いの場」で通うもの

活躍の場

STEP 4

地域にあたたかい血が通う
「支え合いのある地域」

居場所
生きがい

STEP 3

支え合いの意識が通う
「お互いさまの意識」

STEP 2

情報が通う
「暮らしぶりの把握」

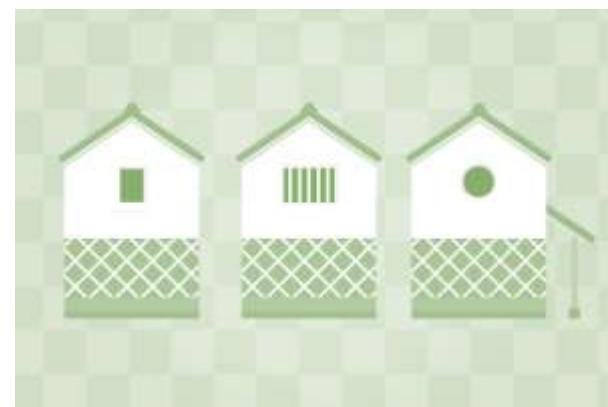
STEP 1

自分の足で通う
「社会参加」

通いの場で
かようもの



3. 被災地でつながる



平成30年7月豪雨災害 倉敷市真備町住み慣れた地域が一変



倉敷市の被害の概要

死亡者 59人(うち災害関連死7人)

住宅被害 5,977棟(全壊・半壊・一部損壊等)

※平成30年7月豪雨災害対応検証報告書(倉敷市)より引用

真備町内の4分の1が被害

最大5メートルの浸水



あなたが
「あなたらしく」
いられる場所は
どこですか？

自分の
役割

落ち着く
自宅

癒し

思い出

マイペース
な暮らし

なじみの
関係性

いつもの
居場所

住み慣れた地域

気どころ
知れた
仲間



日ごろからの「通い」が救った命・紡ぐ復興

川の決壊直前にひとり暮らしの高齢者を救った町内会長とまちの取り組み

- 服部地区でもともと作成した「見守り・支え合い調査票」を活用

発災から2週間で集う 4週間で学区をあげての集いを開催

- 頑張ろう呉妹の開催「住民しかできない発想と行動」

「被災者」である地域住民が
「支援者」として復旧支援。

- 一番に片づけた場所は調理室「そこから踏み出すまちの復興」



日常を取り戻すつながりづくり



- 「**なじみの関係性**」と
「**地域愛**」を暮らしのなかで
- ・自然体で育める環境整備
 - ・意識的に深めるしかけ



「つながり」こそ「**真の備え**」

すごいで！真備町！！「場」から広がる地域の復興

内 容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
真備町 通いの場把握数	38	51	58	被災 98

災害を通して得た3要素はこれからの地域づくりの推進力

1

愛情

「このまちで暮らしたい、このまちを守りたい」
「わがまち」に「わがごと」意識が芽生えたとき、愛情あふれる地域づくりの第一歩を踏み出します。

2

危機意識

大きな被害を受けた経験と教訓は、必ずこれからの防災意識や日頃からのつながりづくりに活かされます。

3

きっかけ

一人ひとりの「意識」が地域の支え合い活動へ広がるために
一歩を踏み出す「きっかけ」を倉敷市は手にしています。

つながり

なじみの
関係性

培ってきた
文化

・地域愛
・支え合い意識

4. コロナ禍でもつながる



4月30日(木)

書き方
見本

氏名：松岡 武司

わたしの近況

元気です 変わりなし 体調不良()
さみしい ※該当する項目にチェックを入れて下さい
【自由記入欄】サロンがしばらく開催できていないので、少し寂しいです。先週の土曜日に庭先にテントを設営して、家族で自宅キャンプを楽しみました。思った以上に楽しめました。早く、サロンが再開し、皆さんの変わらぬ笑顔に会えるのを楽しみにしています。

暮らしの
ひと工夫

家にいる時間が増えたので自宅で手づくりマスクづくりに挑戦中。ついつい作りすぎちゃったので、欲しい方はご一報ください♪

気になること
心配なこと

いつもサロンに来ていた松本のおじいちゃん。一人暮らしで、「腰が痛い」って言っていたけど大丈夫かしら？何か私たちでできることはないかな？

※上の近況等を読んだ感想を正の字で書いていきましょう。

みんなの
反応

すばらしい!

正

楽しい♪

下

びっくり!

一

残念。。

心配。。

T

お返事記入欄

・自宅キャンプ楽しそう！落ち着いたら外でみんなで、ごはんを食べるイベントをしたいですね。(山本)
・心配してくれてありがとう。体調は相変わらずだけど、腰が痛いから買い物を代わりにしてくれる人がいてくれたら助かるなあ。マスク分けてもらえると嬉しい。(松本)



倉敷市の実践

—コロナで切れないココとトコロ（居場所）—

つながり・安心 → 増すマスクプロジェクト イメージ

（写真）

1. マスクづくりに
必要な素材等の
提供受付



生活支援コーディネーターが
つながります！



※生活支援コーディネーター左から：松本、水野、山本、松岡、阪本

2. 手作りマスク
の作成



3. マスクバンクへ提供

5. マスクの提供と
有効活用



4. 手作りマスク
で見守り活動



互いに
近所で
助け合う

ごきんじよ 互近助パントリー プロジェクト

新たな課題

- ・被災地での生活再建・地域支援
- ・長引くコロナ禍

これまでの課題

- ・関係の希薄化
(世代間・コミュニティ)
- ・担い手不足
- ・情報・相談・交流の場不足
- ・要援護者の増加・埋没

気になる
何かしたい
何とかしたい

つながりの場 が激減…

孤立している
(つながりたい)
困っている
(知りたい・相談した
い・支援を受けたい)

集えない
練れない
取組めない

気づき・気にかける層

複雑多様・
複合的・狭間・
急増・手遅れ

困りごとを抱えた人も

- ・社会的孤立
- ・ひとり親
- ・8050
- ・引きこもり
- ・ゴミ屋敷
- ・介護者・ダブルケア
- ・ヤングケアラー
- ・DV・虐待
- ・生活困窮 等



地域の見守り役も

- ・小地域ケア会議開催数 減
- ・地区社協の年間計画変更
- ・友愛訪問の活動 減
- ・ボランティア活動 減
- ・通いの場活動箇所 減



相談・支援機関も

- ・緊急小口資金 (6,238件) ・
総合支援資 (11,080件) の申
請・相談急増 (R4.9月末時点)
- ・相談件数の増加
- ・複雑多様化した相談
- ・潜在的ニーズの増加
- ・被災者の生活相談



互いに
近所で
助け合う

ごきんじよ 互近助パントリー プロジェクト

のながれ

4 相談・支援機関との連携

- ・生活困窮者支援機関・保健所・教育機関
- ・スクールソーシャルワーカー
- ・子育て拠点等



倉敷市社会福祉協議会
生活支援コーディネーター



食材・生活雑貨の提供を募集

- ・スーパー・商店街・企業・農家・個人等



食材
生活雑貨の提供
募集



拠点づくり

緊急一時的な食材等の提供
相談・支援のネットワークの
構築の入り口に



パントリーボックス

困りごとを
抱えた人
孤立しがちな人



2 パントリーサポーターの募集

- ・相談支援機関・社会福祉法人・子育て拠点
- ・地域の見守り役・通いの場等

社会福祉法人

個人・グループ

子育てセンター



活用方法は
地域によって
様々!

3 支援物品を活用した支え合い

- ・食材や生活雑貨の提供を通じた見守りと相談
- ・食材を活用したこども食堂・地域食堂の開催
- ・学事品のお譲り会等

こども食堂



倉敷市の実践

—コロナで切れないココロとトコロ (居場所)—

地域に広がる互近助パントリー

集まっています！

350を超える個人・企業・団体が支援物品を提供。

(令和4年10月現在)



広がっています！

パントリーの支援物品を活用した支え合い活動

困りごと支援



子ども食堂・地域食堂



子育て支援



地域交流



増えています！

市内79か所に互近助パントリーを設置

(令和4年10月現在)

真備地区
6か所

船穂地区
3か所

倉敷地区
29か所

玉島地区
15か所

水島地区
15か所

児島地区
11か所



「新しい生活様式」と「地域らしいつながり様式」

共生型の
場づくり

新しい
担い方を提案

新たな担い手
との出会い

通いの場の
機能強化

身近な相談
情報が通う場

地域食堂
6→18

【パントリーサポーターの種別】

種別	設置数
障がい者（児）支援団体	10
子ども食堂・地域食堂	9
社会福祉法人	7
地域交流拠点	9
子育て支援拠点	8
個人ボランティア	10
ボランティアグループ	16
地区社協・地区社協有志	4
駄菓子屋・喫茶店	2
フードシェアハウス	1
法律相談所	1
障がい当事者団体	1
被災地支援団体	1
合計	79

プロジェクトスタートから **1年半**

互近助（第3層圏域）の
作戦会議（協議体）と

支え合い活動が

79 か所できました。

相談支援機関
との連携強化

学区単位の
話し合い
活性化

【79か所の支え合い活動】

種別	設置数
随時相談・対応	28
既存の活動での相談支援	17
フードシェア等イベント	16
子ども食堂・地域食堂	11
見守り・訪問型	7
合計	79

地域での支え
合いの循環



地域で輝くSCっぽい人・機関とのつながる

① 宝物探し(出会い)

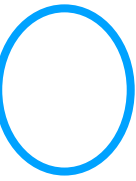
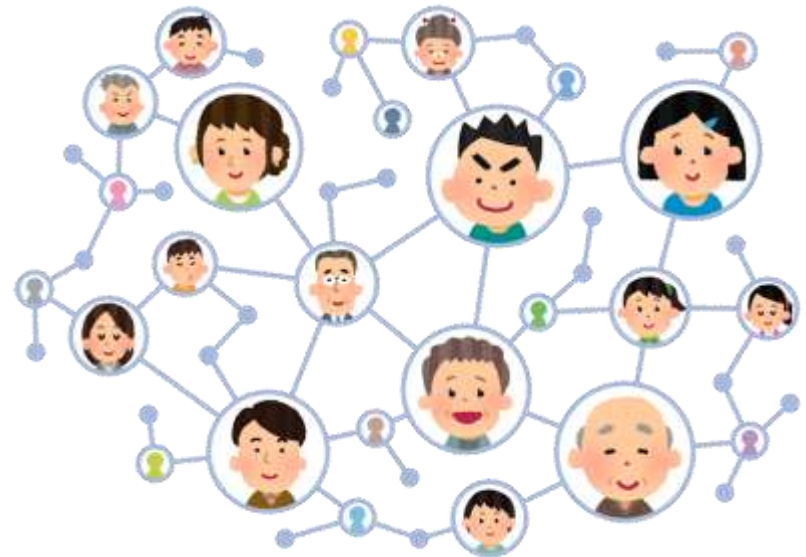
- どれだけ地域に出るか
- 人とつながるか
- 地域づくりを楽しめるか

② 宝物磨き(協働)

- どれだけ引き出しを持っているか(情報・ネットワーク・安請け合い)
- 宝物自慢と宝物をほめてもらえる機会づくり

③ 宝物づくり(創出)

- 生活支援コーディネーターっぽい人とのつながりづくり
- 宝物のレシピづくりをできるだけ楽しく、「わいわいがやがや」と



気づき・気配りのプロ 地域との協働



「本音」がこぼれる
「場」づくりと
「本音」をこぼさない
「受皿」づくり



支援とつながりのプロ 多機関との協働

地域づくり

生活支援体制整備事業が示す
体制ってなんでしょう？

社会
参加

支え
合い

介護
予防

拠り所

拠り所



【生活支援コーディネーター】
地域づくりを安心して取り組む
ための下支えとしての**体制整備**

【地域】
地域でつながり・困りご
とを支え合う**体制整備**

市役所

社協



【市町村・組織】
SCが地域づくりを
やりがいを持って楽しめる
体制整備

むしろ
ここからじゃ
ないのかなあ？

暮らしに「き」がつく「くらしき」

